



# 上末っ子

令和3年10月29日

11月号

横浜市立上末吉小学校

～ 学び合い みとめ合い 一人ひとりが輝く上末っ子 ～

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamisueyoshi/>

## 『KS70♡大運動会』

校長 内田 宏平

KS70♡大運動会を迎えるにあたって、教職員皆が「子どもたちの成長につなげるためには…」とアイデアを出し合い練り上げていきました。制約のある中での実施となりましたが、子どもたちが活躍するチャンスを生み出すための工夫や子どもたちの魅力を表現するための手立てについて学年内・チーム内で検討に検討を重ねました。そして、それに応えて自ら運動会を創り出そうとする子どもたち自身の輝きは、本番が近づくにつれぐんぐん増していきました。

迎えた当日。自分自身の出番で頑張るのはもちろん、互いに応援し合い、健闘を称え合い、仲間に寄り添う優しさを発揮し、勝ってうれしい負けて悔しい思いを共有する一人一人の輝く姿。運動会運営に参画し力を発揮する高学年児童の充実した表情。アイコンタクトを取りながら子どもたちの頑張りを支える教職員。熱心に応援し温かい拍手を送ってくださる保護者の皆様。上末吉小学校に集う全ての方々を誇らしく思い、自分もその一員であることに幸せを感じる瞬間瞬間。胸が熱くなりました。

運動会本番は一日で終わります。しかし、そこに至るまでの過程全てにそれぞれのドラマがあるのです。そのドラマを想像すると感動もより深まります。様々な経験を積み重ね、運動会というドラマの中で得られた子どもたちの成長は、きっとこれからの日常の中で大きな財産となるはずです。

さて、本当ならば子どもたち一人一人の思いをお伝えしたいところですが、代表して応援団長にコメントをもらいました。

### 赤組団長 北崎 文奏さん

初めは、団長になった喜びとともに、みんなを引っ張っていかなくてはというプレッシャーがありました。練習を進める中で、全校の前に立つことも楽しくなっていました。副団長をはじめ、団員のみんなが支えてくれて毎回の練習も楽しかったです。本番では、みんなの視線が集まってとても緊張しました。声がしっかり出るか不安もありました。でも、練習のことを思い出したら気持ちが落ち着いていきました。団員の笑顔からも勇気をもらいました。今回の経験をとおして、本番につながる練習は大切だなと実感しました。また、今までの自分と比較すると、気持ちのよい態度で過ごすことや仲間と協力することの価値の高さを実感できたことで成長したなと感じています。

後輩のみんなにも、プレッシャーに負けないで努力を続ける経験をしてもらえたらうれしいです。

### 白組団長 堀内 愛斗さん

うれしさと不安の中、団長としての活動が始まりました。緊張も強かったのですが、自分ができていないときにみんなが助けてくれてうれしかったです。選手宣誓のときに、最初言葉を間違えてしまったけれど、途中で立て直すことができてよかったです。保護者も大勢いたのでうまくいくか不安もあったけれど、集中して乗り切ることができました。力を出し切れたことに満足しています。

不安を感じることもあるけれど、周りの人が支えてくれるから大丈夫！自信をもってチャレンジすることのよさを後輩のみんなにも感じてほしいです。

自分も、今までは不安があるととまどってしまうことがあったけれど、団長を経験したことで、周囲の人が支えてくれていると思ったら自信がもてるようになりました。

団長の二人は、それぞれのドラマの中で確かな成長を掴むことができました。(子どもたちの成長は我々大人にとって大きな喜びですね！)



全ての子どもたちの頑張りとそれを支えていただいた保護者の皆様の心強さに大きな拍手を送ります！そして、来年こそは、地域の皆様にもこの感動を味わっていただけるよう願っています。

PTA からいただいた参加賞のタオル。「うめっぴー」と「70周年ロゴ」がデザインされています。



各教室の窓から、「うめっぴー」が応援してくれています！  
上末吉小ならではの運動会が創られました。

メラメラと燃える聖火